

大学院集中講義(物理化学特別講義 I)

講師： 中田 聡氏 (広島大学・大学院理学研究科・教授)

題目： 膜・界面でみられる非線形現象

日時と場所：

2016年12月6日(火) 2～3時限 (8号館302号室)

2016年12月6日(火) 4～5時限 (8号館300号室)

2016年12月7日(水) 2～5時限 (8号館309号室)

授業番号： 博士前期課程(修士):R319 博士後期課程(博士):R320

※2016年11月29日(火)までに理工学系教務係窓口にて履修申請手続きを行うこと

要旨： リズムとパターンは、自然界や生体系でよく見られる特徴的な非線形現象である。本講義では、膜・界面に着目し、複雑系を縮約した無生物系の非線形現象について様々な化学と物理の事例を紹介し、そこに潜む普遍性と特徴について解説する。そして、現象の理解に基づき、既存の実験系の活用に終わらない、非線形現象を発現するための実験系の構築に焦点をあてる。

連絡先： 理工学研究科 分子物質化学専攻 好村滋行(komura@tmu.ac.jp)